

事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	保健部 健康増進課 保健予防係 飯田 亜由美	評価責任者 (担当課長)	健康増進課長 高野由子
----------	------------------------	--------------	-------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	母子保健事業(ウェルカムベビー教室)	② 整理番号	02060102-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・教育・福祉	
	節	安心と健康、生きがいのある福祉社会の実現	
	項	健康づくり・保健活動の充実	
	号	母子保健事業の充実	
④ 関連する個別計画	なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	母子保健法		

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産及び育児に対する知識を持ち、安心して出産・育児をできるようにする。 ・妊婦同士の交流を図り、友達づくりを支援する。 ・父親の育児参加を促す。 ・妊娠中から自分の口腔衛生と、児のう歯予防の知識を持つ。 ・自己決定、情報の取捨選択ができる能力を身につける。
② 対象 (誰・何を対象として)	初産婦及び配偶者とその家族
③ 手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・教室事業としては、歯科検診・栄養指導・育児指導を年6回実施、お産の経過・産後うつ予防教育・リラクゼーション・ファミリープランニングを年4回実施する。 ・グループワークを取り入れ、妊婦同士の交流を図る。 ・配偶者や家族にも主体的に育児に取り組んでもらえるよう、実際に赤ちゃん人形を用いての実習や妊婦体験を実施している。 ・事業は、母子手帳の交付会での情報提供に加え、広報誌やホームページにも掲載し、参加を呼びかけている。また、ハイリスク者には、母子手帳交付後、個別に教室の勧奨を電話やハガキで実施している。 ・妊婦歯科健診は2歳児親子歯科健診と、合わせて実施し、利便性の向上を図っている。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	妊婦の妊娠期を健やかに過ごせるよう援助し、出産・育児へとスムーズな対応ができるよう知識の習得、環境の整備を図る。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円、人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	49	49	49	67	(予算) 64
② 概算人件費	(1.14) 724	(1.16) 743	(1.15) 782	(2.09) 618	
(関与比率) 一般職員	(0.08) 550	(0.07) 489	(0.08) 573	(0.07) 530	
(関与比率) 嘱託職員	(0.06) 146	(0.09) 226	(0.07) 181	(0.02) 53	
(関与比率) 臨時職員	(1.00) 28	(1.00) 28	(1.00) 28	(2.00) 35	
③ 合計(①+②)	773	792	831	685	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)	0	0	0	0	0
⑤ 一般財源(③-④)	773	792	831	685	

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 開催回数	年間開催回数	10 回	10 回	10 回	10 回
	② 参加者数	年間参加者数	149 人	129 人	122 人	106 人
成果指標	① 参加者の満足度	アンケート調査で「大変良かった」「良かった」と答えた人数/参加者数	100.0 %	100.0 %	98.9 %	100.0 %
効率指標	① 参加者1人あたりのコスト	一般財源/年間参加者数	5,188 円	6,140 円	6,811 円	6,462 円
	②					

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	少子化対策の一翼を担うものであり、乳児に対する虐待の予防の観点からも妊娠期から相談窓口を知ることが、顔の見える関係づくりができ、市が行うべき事業として妥当である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	・参加者のアンケートからも多くの方から満足であるとの回答があり、参加者のニーズにあった教室であると考えられる。 ・ハイリスク者の継続的な支援につなげることができている。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	参加費用の負担が無く事業を実施する上で、2歳児親子歯科健診との同時開催を継続しており、経費削減に努めている。また個別の訪問等で内容を実施するよりも1人当たりのコストは低く効率的な事業である。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直しのうえ継続（重点化、縮小、統合など）、C 休止、D 完了・廃止

判定	「B 見直しのうえ継続」の場合の具体的な改善・見直しの内容
A	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直しのうえ継続（重点化、縮小、統合など）、C 休止、D 完了・廃止

判定	「B 見直しのうえ継続」の場合の具体的な改善内容・改善計画